

2022/11/08(火) ⑥限目

2-67(文系・森島 T 講座)

授業者 地理 B: 森島・杉坂、物理: 小原、化学・松田

<目標>

地理 B の授業 (文系の講座) で、説明がうまくできない・できていなかった部分を他教科の専門教員から補完してもらい、理論的により深い理解を促す。

<<授業の流れ>>

【導入】(森島 T)

Q:「物理、化学ってどんな科目? 地理で物理・化学的な分野はどんなものがあったか?」
(その中で長年地理でうまく説明できない部分はどこか。)

(杉坂)

ワークシートを使って大気の循環の復習
では

Q:「低圧帯、高圧帯とはどのようなものか。」

「赤道低圧帯、中緯度高圧帯はどのようなもので、なぜできるのか。」

「風はなぜ吹くのか。」

【地理×化学】(松田 T)

<気圧帯のでき方、対流>

演示実験など

Q:「気圧とは何か」 …コップの水と厚紙で実験、

Q:「暖められた空気はなぜ上昇するのか」 …実際に気球で実験

Q:「さらに高圧・低圧、風はなぜ吹くのか」 …電車の乗客など身近で具体的な例で説明

(杉坂) 風で繋ぐ

Q: 恒常風3つとその方向は? 恒常風はなぜこの方向に吹くのか?

【地理×物理】(小原 T)

<コリオリの力と恒常風の向き>

Q:「恒常風がなぜ曲がるのか(貿易風や偏西風の方向)」…相対速度の観点から観覧車・運動会競技の台風の日、教員同士の並走などの動画を例に説明

さらにペアで紙を動かしながら線を引くという体験的活動で理解を促す。

【まとめ】